

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

警告							
分解禁止 分解、改造や本体へ二次加工はしないでください。 故障・感電・けがの原因になります。	<p>配線は適切な電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。</p> <p>本製品を設置する際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。</p> <p>電源線、アース線の結線後、必ず付属のスナップバンドで固定してください。保護パネルを取付けの際、電線を挟み、故障・感電・火災の原因になります。</p> <p>使用するねじは、指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> <tr> <td>端子ねじ M3.5</td> <td>0.8 ~ 1.2</td> </tr> <tr> <td>アースねじ M5</td> <td>2.0 ~ 2.5</td> </tr> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	端子ねじ M3.5	0.8 ~ 1.2	アースねじ M5	2.0 ~ 2.5
ねじの呼び		適正締付トルク N・m					
端子ねじ M3.5		0.8 ~ 1.2					
アースねじ M5		2.0 ~ 2.5					
アースせよ アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。 感電の原因になります。							
本製品を設置する際は、電源線などの配線を支持脚や周辺機器などで挟まないようにしてください。 故障・感電の原因になります。							
電気工事（取付・施工）は有資格者が行ってください。 故障・感電・けがの原因になります。							
電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守し、必ず専用の電源回路としてください。 故障・感電・けがの原因になります。							

注意							
指に注意 本製品を設置する際は、隣接するフリアクパネルに手や指を挟み込まないように作業してください。 けがの原因になります。	<p>使用するねじは、指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> <tr> <td>保護パネル取付ねじ M5×12</td> <td>2.9 ~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>ファン取付ねじ M5×60</td> <td>1.2</td> </tr> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	保護パネル取付ねじ M5×12	2.9 ~ 3.9	ファン取付ねじ M5×60	1.2
ねじの呼び		適正締付トルク N・m					
保護パネル取付ねじ M5×12		2.9 ~ 3.9					
ファン取付ねじ M5×60	1.2						
本製品を設置する際は、隣接するクリアパネルと段差が生じないようにしてください。 転落によるけがの原因になります。							
本製品を設置する際は、落下しないように注意してください。 けが・故障の原因になります。							

■使用上のご注意

警告	
ぬれ手禁止 濡れた手で操作しないでください。 故障・感電の原因になります。	<p>本製品の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えるおそれがある場所には使用しないでください。</p> <p>通電中は充電部に触らないでください。 感電の原因になります。</p>

⚠ 警告


!	保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。	!	定格電圧でご使用ください。使用電圧は定格電圧の ±10% 以内です。電源電圧が変動した場合でも使用電圧を超えないようにしてください。故障・感電・火災の原因になります。
	異常時(焦臭いなど)は電源を OFF にし、運転を停止してください。感電・火災の原因になります。		

⚠ 注意

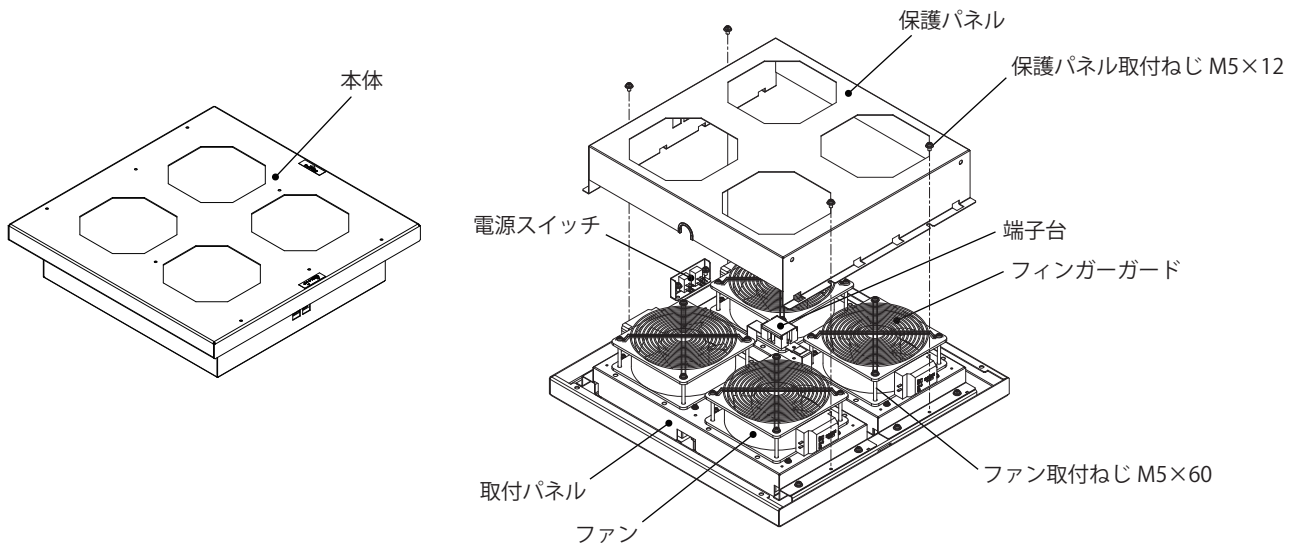
⊘	精密機器ですので振動・衝撃などを与えないでください。故障の原因になります。	⊘	次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。 ・高温、高湿となる場所 ・腐食性ガスのある場所 ・振動、衝撃のある場所 ・可燃性ガスのある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ(電界・磁界)の強い場所 ・水滴のかかる場所 ・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所
	本製品の耐荷重は 200kg です。許容以上の荷重や強い衝撃を与えないでください。また、局所的あるいは偏った荷重をかけないでください。変形・故障の原因になります。		
	履物の爪先やヒール類で本製品を直接踏まないでください。転倒による、けがや変形・故障の原因になります。		
	パネル表面の汚れを落とす際は、引火性のある薬品を使用しないでください。塗装の変色や火災の原因になります。		
	本製品はフリーアクセスフロア(屋内)用です。指定用途以外で使用しないでください。故障の原因になります。		本製品の上で台車による重量物の搬入や設置作業を行う際は、必ずベニヤ板などの導板を敷いて養生(保護)を行ってください。変形・故障の原因になります。

■ファンに対するご注意

⚠ 警告

 <small>回転物注意</small>	けがのおそれがあります。 ・フィンガーガードを取外したまま運転をしないでください。 ・ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。 ・保守点検時は(ファンの回転を点検する場合を除き)必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。
---	--

■各部の名称



RDTF-504G

●付属品

名称	数量	備考
スナップバンド	2コ	電源線固定用
取扱説明書(本紙)	1部	—

仕様

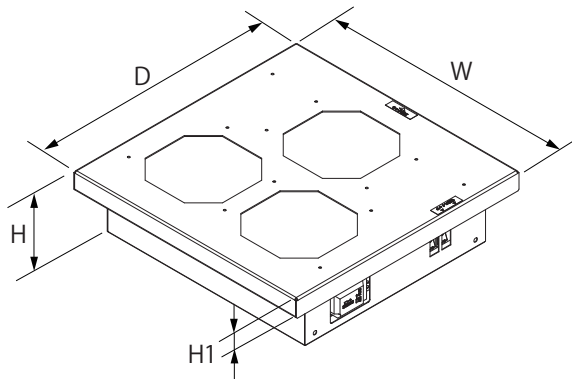
使用温度：0～+60℃、使用湿度：20～85%R.H、定格電圧：単相 AC100V、定格周波数 50/60Hz

品名記号	RDTF-453G		RDTF-504G		RDTF-604G	
外形寸法 mm(W×H×D)	450×116×450		500×116×500		600×116×600	
パネル厚さ mm(H1)	34		34		45	
質量 kg	12		15		17	
運転モード	弱運転	強運転	弱運転	強運転	弱運転	強運転
ファン運転数	2	3	2	4	2	4
最大風量 m ³ /min※ ¹	10/11.8	15.2/17.8	9.6/11.3	20.3/23.8	9.6/11.3	20.3/23.8
最大静圧 Pa※ ¹	59/81	145/178	30/42	144/175	30/42	144/175
定格電流 A	0.8/0.8	1.2/1.1	0.8/0.8	1.6/1.5	0.8/0.8	1.6/1.5
定格消費電力 W	75/75	112/113	75/76	150/151	75/76	150/151
騒音 dB(A)※ ²	約61/64	約62/65	約60/64	約62/65	約60/64	約62/65

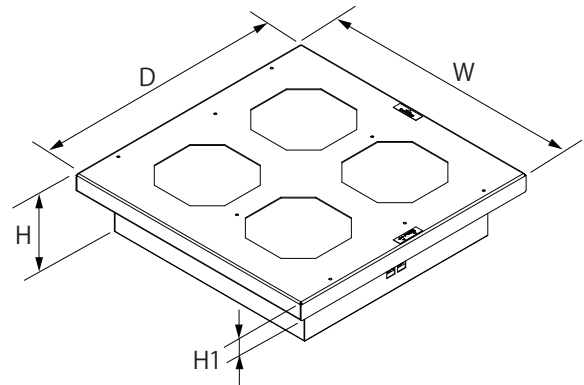
※1. 最大風量、最大静圧の測定方法はダブルチャンバー方式です。

※2. 騒音は反響音の少ない無響音室で測定した値です。現地での据付環境、および反響によって騒音値は大きく影響されますので注意してください。

【外形寸法】



RDTF-453G



RDTF-504G、-604G





結線


●電源線・アース線

定格電圧は単相 AC100V です。

☐ご注意

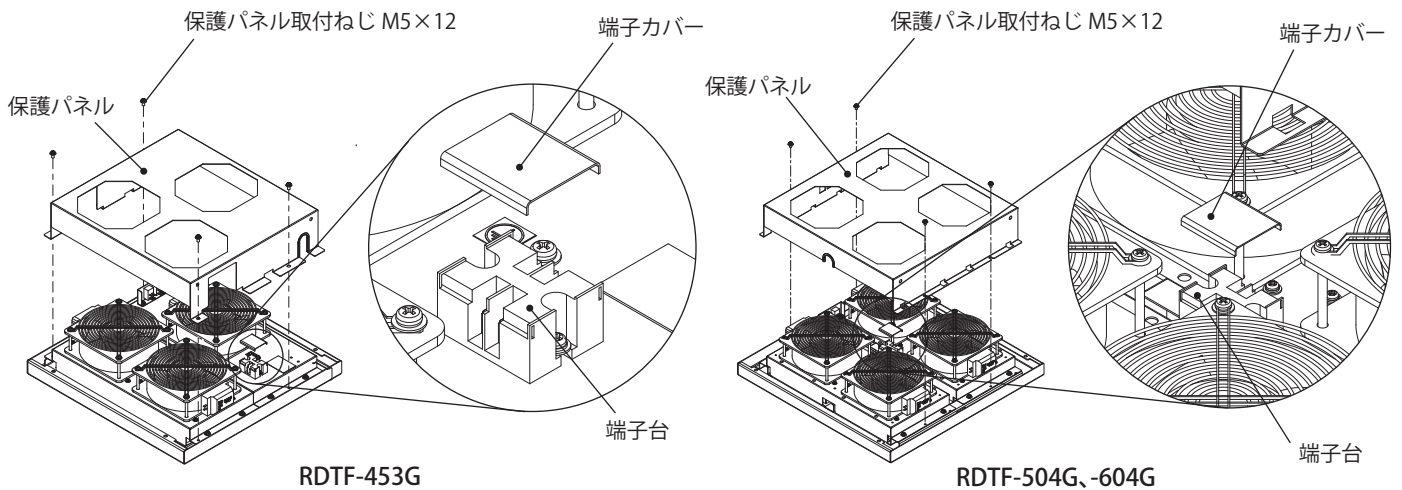
- ・使用電圧範囲は定格電圧の ±10% です。電源電圧が変動した場合でも、使用電圧を超えないようにしてください。
- ・端子台への電源線の接続は、「P.4●接続方法」にて指定の端子へ確実に行ってください。

警告							
 アースせよ	アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。						
	配線は適切な電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。						
	電源線、アース線の結線後、必ず付属のスナップバンドで固定してください。保護パネルを取付けの際、電線を挟み、故障・感電・火災の原因になります。						
							
取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>端子ねじ M3.5</td> <td>0.8～1.2</td> </tr> <tr> <td>アースねじ M5</td> <td>2.0～2.5</td> </tr> </tbody> </table>		ねじの呼び	適正締付トルク N・m	端子ねじ M3.5	0.8～1.2	アースねじ M5	2.0～2.5
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
端子ねじ M3.5	0.8～1.2						
アースねじ M5	2.0～2.5						

注意							
	取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護パネル取付ねじ M5×12</td> <td>2.9～3.9</td> </tr> <tr> <td>ファン取付ねじ M5×60</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>		ねじの呼び	適正締付トルク N・m	保護パネル取付ねじ M5×12	2.9～3.9	ファン取付ねじ M5×60	1.2
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
保護パネル取付ねじ M5×12	2.9～3.9						
ファン取付ねじ M5×60	1.2						

● 接続方法

1. 保護パネル取付ねじ M5×12 を外し、保護パネルを取外してください。
2. 端子台の端子カバーを取外してください。

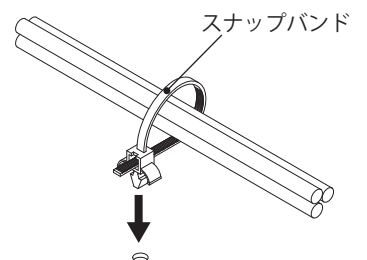
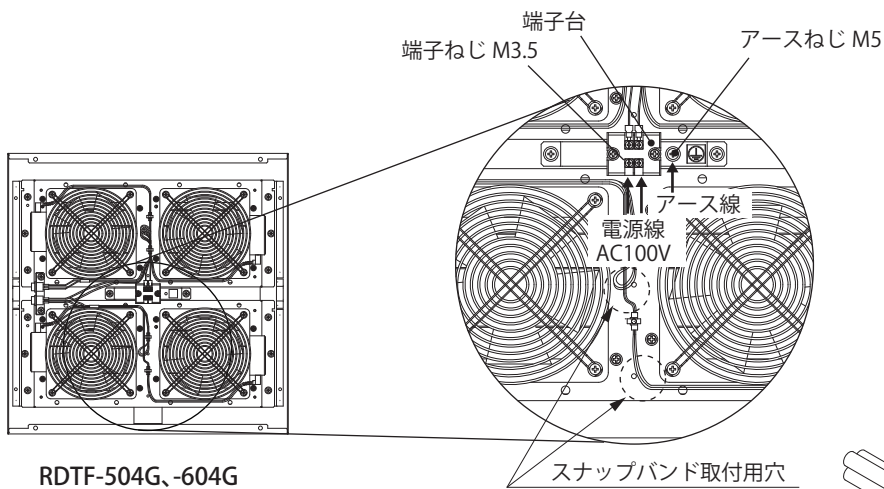
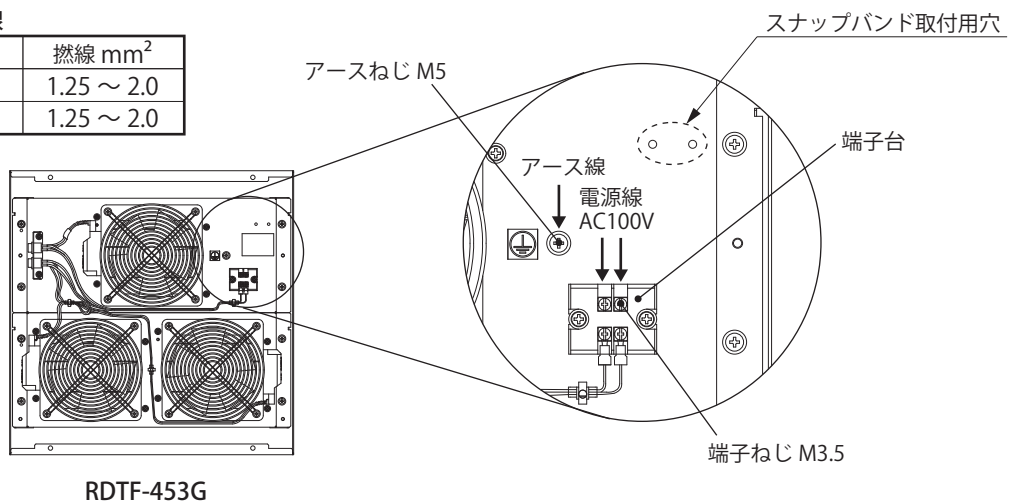


3. 電源線を端子台の端子ねじ M3.5 へ、アース線をアースねじ M5 へ適正締付トルクにて確実に接続してください。電線は接続可能電線を使用してください。

ご注意 本製品には、電源線・アース線は付属されていません。

接続可能電線

種類	撚線 mm ²
電源線	1.25 ~ 2.0
アース線	1.25 ~ 2.0



4. 電源線・アース線を付属のスナップバンドを使用して固定してください。
5. 接続後、逆の手順で端子カバー、保護パネルを取付けてください。

スナップバンド固定方法

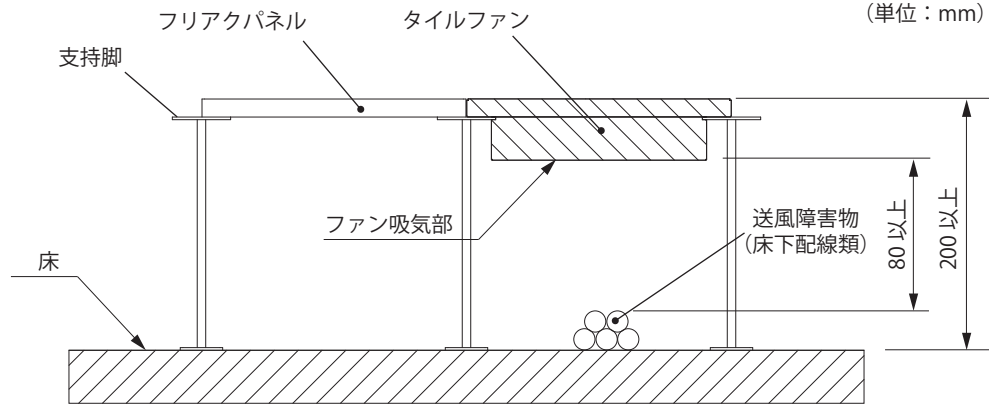
■設置方法

フリーアクセスフロアの支持脚に設置してください。

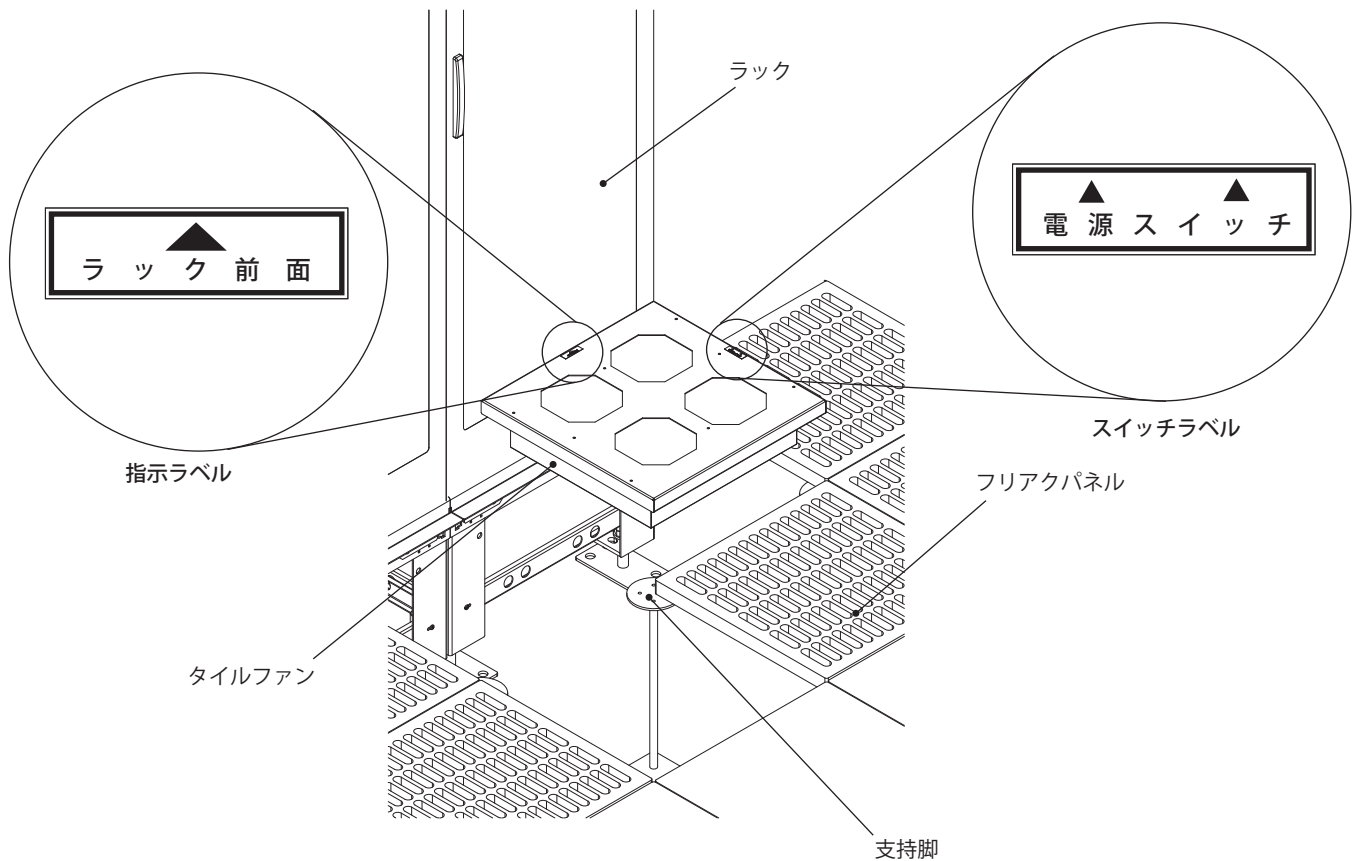
ご注意

本製品を設置する際は、床からフリーアクパネル表面までの高さを測定し、200mm 以上あることを確認してください。

また、送風障害物からファン吸気部までの距離を 80mm 以上としてください。ファンの送風性能が得られないおそれがあります。



1. 本製品を設置する場所のフリーアクパネルを外してください。
また、作業スペースを確保するため、隣接するフリーアクパネルを外してください。
2. 指示ラベル(ラック前面)を送風するラック側に向けて、支持脚に設置してください。
ご注意 設置方向を間違えると、ラックに送風ができなくなりラックに搭載された機器の故障の原因になります。
3. 隣接するフリーアクパネルを元の位置に設置してください。
ご注意 電源スイッチの ON・OFF 操作は、スイッチラベル貼付側の隣接するフリーアクパネルを外す必要があります。
(P.6「●運転モード」を参照)



警告	
⊘	本製品を設置する際は、電源線などの配線を支持脚や周辺機器などで挟まないようにしてください。故障・感電の原因になります。
!	本製品を設置する際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。
注意	
⚠ 指に注意	本製品を設置する際は、隣接するフリーアクパネルに手や指を挟み込まないように作業してください。けがの原因になります。
⊘	本製品を設置する際は、落下ないように注意してください。けが、故障の原因になります。

■ 運転

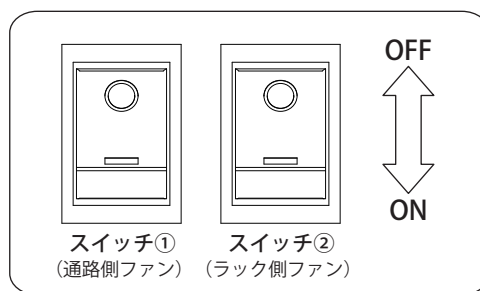
電源スイッチのON・OFF切替えにより、運転モードの切替えが可能です

● 運転モード

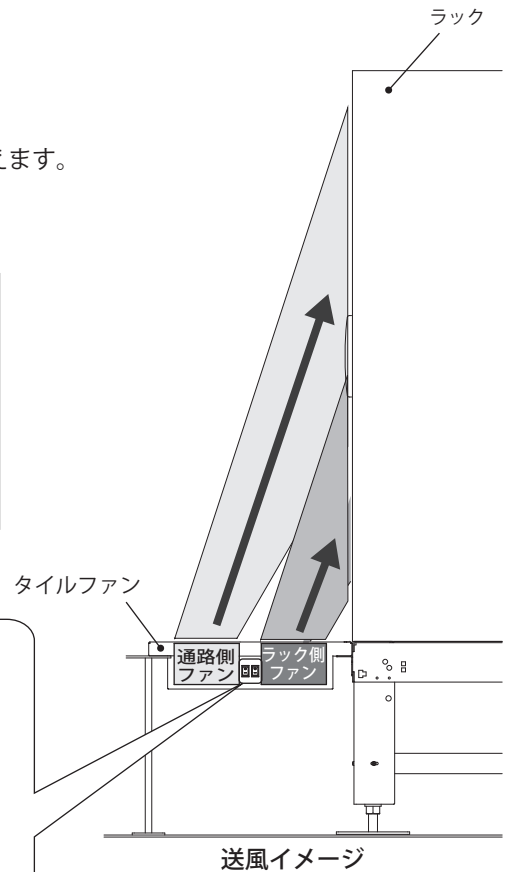
スイッチ①は通路側ファン、スイッチ②はラック側ファンのON・OFFを切替えます。
運転モードは各機種2パターンとなります。

品名記号	運転モード※	送風エリア	ファン運転数	スイッチ①	スイッチ②
RDTF-453G	強運転	ラック全体	3	ON	ON
	弱運転	ラック上部	2	ON	OFF
RDTF-504G	強運転	ラック全体	4	ON	ON
RDTF-604G	弱運転	ラック上部	2	ON	OFF

※停止する際は、スイッチ①とスイッチ②をOFFにしてください。

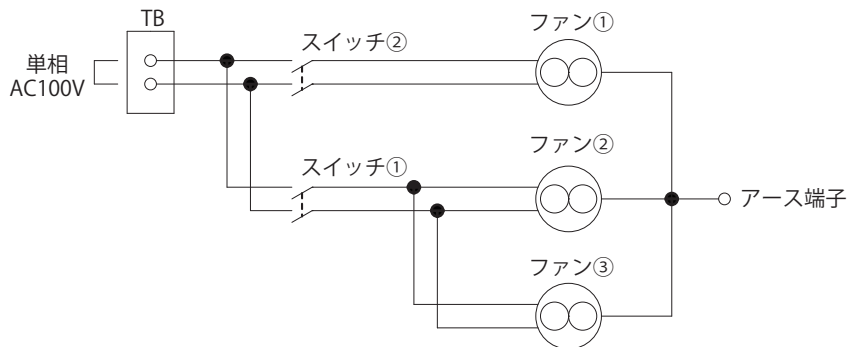


電源スイッチ拡大図

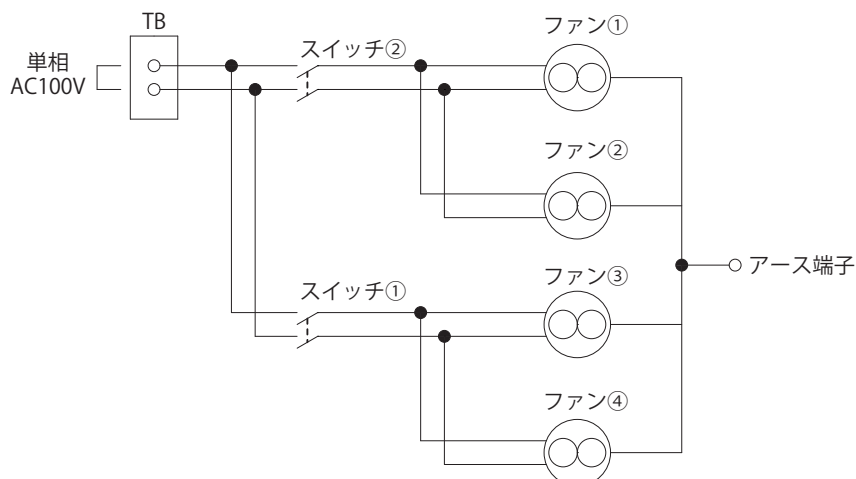


■ 回路図

● RDTF-453G



● RDTF-504G、-604G



■保守点検

保守点検作業を行う場合は、ファン動作を点検する場合を除き必ず電源を OFF にし、ファンの羽の回転が停止してから行ってください。

●主要部品

ファンは、使用環境や使用状況により寿命が異なりますので、3～6ヵ月ごとに定期的に点検を行ってください。交換用の部品については別途ご用意ください。

部品	寿命目安
ファン	常温における連続運転での推定寿命：約4年

【ファンの交換方法】

1. 保護パネル取付ねじ M5×12 を外し、保護パネルを取外してください。(図 1)
2. ファン取付ねじ M5×60 を外してください。(図 1)
3. ファンを取付パネルから取外し、プラグコードを外してください。(図 1,2)
4. 逆の手順にて交換用ファンを取付パネルに取付けてください。

ご注意

- ・ファンに刻印された風向の矢印が取付パネル側に向くように取付けてください。(図 2)
- ・プラグコードはファンの電源入力端子に確実に根元まで挿入してください。(図 2,3)
- ・プラグコードがファン取付ねじ M5×60 の内側となるように配線してください。(図 2～4)
- ・プラグコードがファンと取付パネルに挟まれないようにしてください。またファンに巻き込まれないように注意してください。

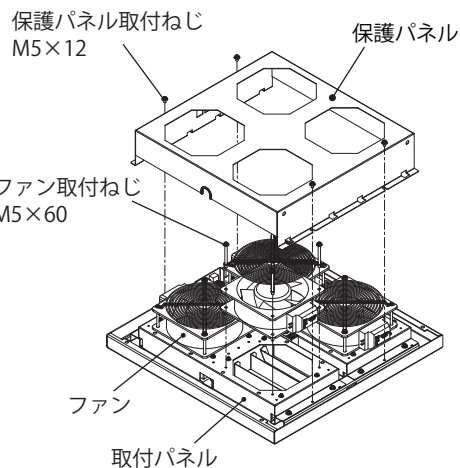


図 1

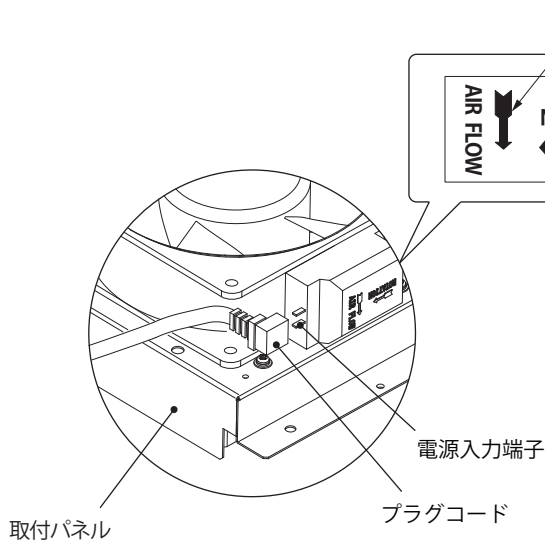


図 2

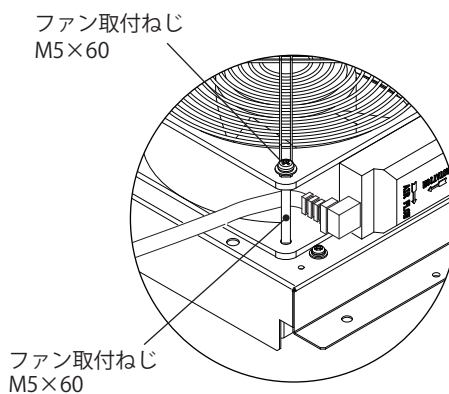


図 3

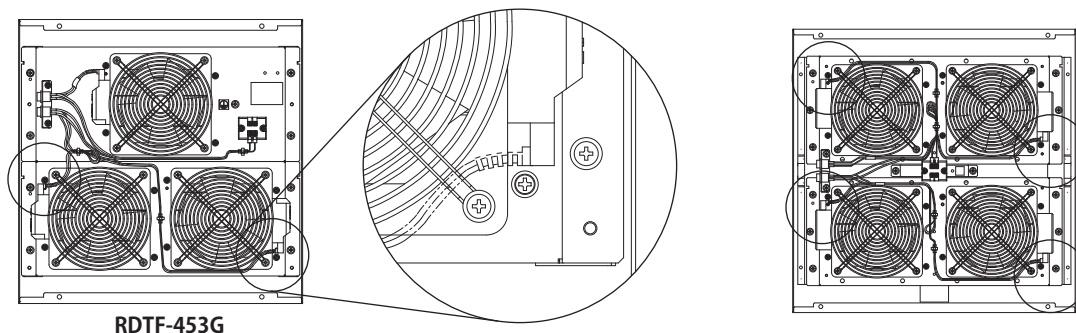


図 4

⚠ 注意

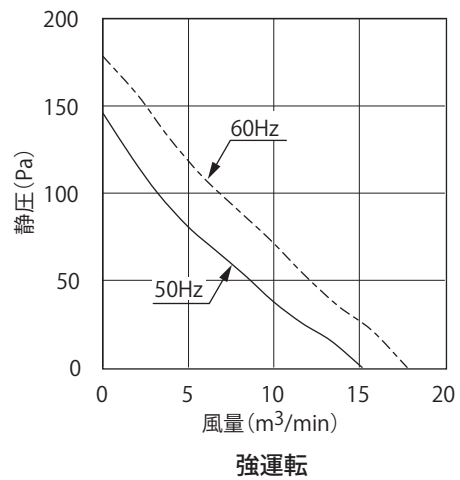
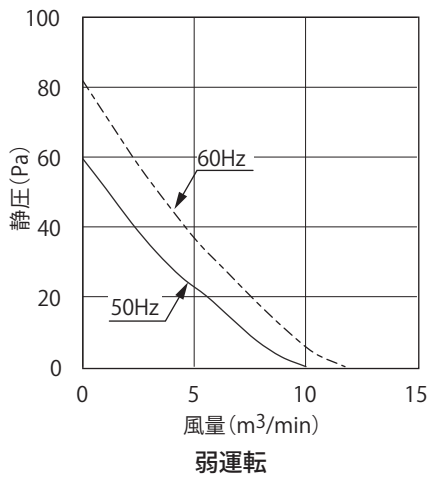


取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

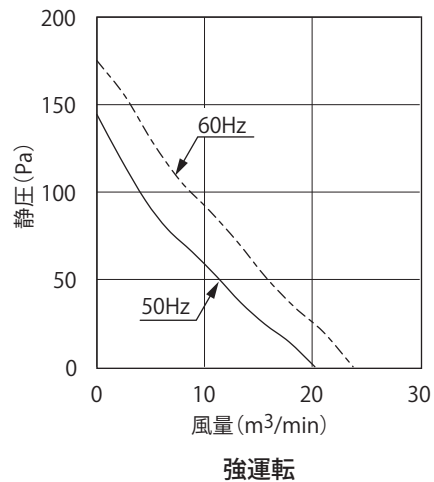
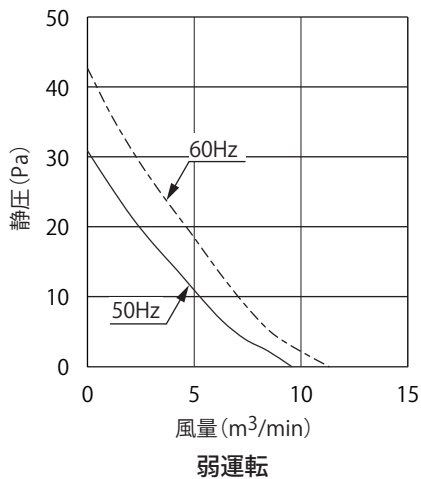
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
保護パネル取付ねじ M5×12	2.9～3.9
ファン取付ねじ M5×60	1.2

■風量 - 静圧特性

●RDTF-453G



●RDTF-504G、-604G



施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2019 年 2 月現在のものです。

C451720922